

'66 DODGE CORONET 2Dr. POST STREET-STRIP w/MOPAR PERFORMANCE MAGNUM 402cuinV8

スーパーストックを意識した
60sダッジ・2ドア・ポスト。

■THANKS/RED LINE TEL:045-545-9111 www.redline045.com

**HOT
RODDING
CRATE
MOTOR**



細かな部分ではあるが、バッテリーがトランクルームにリロケーションされているところも重要なポイント。これは駆動するリアタイヤにより多くの荷重をかけてトラクションを得やすくするための対策であり、Street Stripのモディファイにおける王道といえる部分。



この2ドア・ポスト(2ドア・セダン)のボディ・スタイルが60年代のドラッグレース界を覇権としたスーパー・ストックの基本となっていた。



ホイールは、ドラッグレースではおなじみのWeld。ストリートではこのようにキワドリターへのラジアルタイヤを組み合わせているが、レース場ではリザイヤタイヤをドラッグスリックに置き替えて出場、なんて方法もありではないだろうか。

往年のAカーを題材にしたHOT RODプロジェクトにおいて、忘れられるわけにいかないのがドラッグ・ストリップを目標したいくつかのスタイルである。これらについては、本誌ではかれこれ10年経って「HOW TO HOT ROD」なるコーナーで取り上げ続けている。その中でも、基本的にストックのフレームを採用しているマシンでも、ドラッグ・ストリップ専用のレーズカーには「DRAG RACER」という呼称を使わずにカスタムライズしているが、ここで注目したいプロジェクトは少々ニュアンスが異なる。やはり、多くのユーザーにとってはストリートユーザーをも可能とするカークワフトこそが現実的だろうと判断していることだ。

本国ではその代表的なカタチのひとつとして「PRO STREET」なるものがある。これは絶対条件としてナンバリングを取得してストリートの走行が可能なマシンのことであるモノに上りずらはほとんどレーズカーと変わらぬ内容のものも存在するが……。それでも「ひとつのPRO STREET」と呼ばれるマシンの大きな特徴と云うか条件となるのが、ナロード・デフを装着していることだ。これに伴ない、必然的にリアサスペンションのデザイン変更を迫られることになる。そして実際にはサジン・カリフォルニアでもその手のマシンが日常的に街を走っているマシンを目にするのはほとんどなく、カーショーやクルーズに参加する目的で短い距離を自走することがある、という程度に留まっている。そしてもちろん、日本の道場でそれを自走する機会など皆無に等しい。

